

## 2024 年度（対象年度：2023） 自己点検・評価シート

組 織 名	教職センター
責 任 者	只友 景士

基準 1	理念・目的
------	-------

## ■事前確認

前年度の自己点検・評価シートから、伸長・改善計画、評価結果の課題事項（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】）を転記していますので、確認してください。

認証評価結果において、大学基準協会から指摘された事項について確認してください。

<前年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）

<前年度の評価結果（課題事項）>

課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載。該当がない場合は「なし」と記載。 ・2022 年度に「教職センター自己点検・評価委員会」を設置し、開催したこと。同委員会が、目標と計画が学生の学修成果をはじめ、社会情勢や教育環境など種々の変化を踏まえたものとなっているか、継続的かつ適切に点検・評価することが期待される。【留意点】
---

<【参考】2020 年度 認証評価結果における指摘事項>

総評における助言 / 是正勧告 / 改善課題
なし

## I. 自己点検・評価

## 1 自己点検・評価結果 &lt; 評定 &gt;

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「S」「A」「B」「C」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目 <大学基準協会の「評価項目」に相当>	点検項目 <大学基準協会の「評価の視点」に相当>	自己評価
			現状
103	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画を適切に設定しているか。	①教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画を設定しているか。	A
		②教員の養成の目標及び当該目標は大学の教育理念・目的と関連しているか。	A
		③学生や採用権者の意見の考慮、所在する都道府県・政令指定都市教育委員会の策定する教員育成指標との関係性の考慮が行われているか。	B
		④教職課程における学生一人一人の学修成果や自己点検・評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適切な見直しが行われているか。	A

## 2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。	
103①	本学における「教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画」を定めており、本学 Web サイトで公表している。[103 ア]
103②	本学の教員養成の目標では、上記「教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画」において、本学の建学の精神や理念・目的のもと、その実現のために教員の養成を実践することとして目標を定めており、大学の教育理念・目的と連関している。[103 ア]
103③	本学では、上記の「教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画」において、「豊かな人間性と高い倫理観を備え、社会的責務に対する自覚を有する教員の養成を実践」することを教員養成の目標に定め、「国の将来を展望した教育のあり方を念頭におきつつ、課程認定大学に求められる社会的役割と責任を十分に自覚した教員養成にかかる諸活動を積極的に推進するとともに、内発的に教育界に貢献できる有為な教員養成」に取り組むとしており、教員育成指標との関連性を考慮した内容としている。[103 ア]
103④	教職センターが展開する諸活動について、自主的、継続的に自己点検・評価を行い、その結果を本学教職課程の改革、改善に結び付けるため、2022年度より教職センターに「教職センター自己点検・評価委員会」を設置し、2023年度においては全4回開催した。今後も引き続き、学生の学修成果をはじめ、社会情勢や教育環境の変化などの種々の変化を踏まえた適切な目標や計画となっているか、同委員会において点検・評価を行うこととする。[103 イ] [103 ウ]
長所・特色《箇条書き》*先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの、他の組織の範となるもの、自己評価・現状「S」のもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項《箇条書き》 *伸長すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

### 3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み *成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
103④	2023年度においては「教職センター自己点検・評価委員会」を全4回開催した。自己点検・評価の結果については、教職センターWeb サイトにて公表している。今後も、学生の学修成果をはじめとして、社会情勢や教育環境など種々の変化を踏まえ、継続的かつ適切に点検・評価していく。

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）

### 4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
103	ア	教員教職センターウェブサイト「教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること」【ウェブ】
103	イ	教職センター自己点検・評価委員会の設置および運用規程の制定について（報告）

103	ウ	2023年度教職センター自己点検・評価委員会 次第（第1回～第4回）
-----	---	------------------------------------

## II. 評価結果

総評
<p>103①② 建学の精神や理念・目的のもと教員を育成することを明示した「教員の養成の目標（以下「目標）」、そして目標を実現するための計画「教員養成の目標を達成するための手だて（以下「計画）」を定め、本学 Web サイトに公表している。目標及び計画は、大学の理念・目的である「建学の精神に基づき「真実を求め、真実に生き、真実を頭かにする」ことのできる人間を育成する」ことを教員養成の理念とし、建学の精神及び大学の教育理念・目的とも連関している。</p> <p>103③ 「計画」には、各教育委員会による教師塾や学校ボランティア等における学校現場での学びを奨励することを定め、教育委員会の策定する教員育成指標との関係性を考慮した内容も含まれている。</p> <p>103④ 2022年度に「教職センター自己点検・評価委員会」を設置し、2023年度においては全4回開催した。今後も引き続き、同委員会が、目標と計画が学生の学修成果をはじめ、社会情勢や教育環境など種々の変化を踏まえたものとなっているか、継続的かつ適切に点検・評価することが期待される。</p> <p>以上、建学の精神や教育理念・目的に即した「目標」を定め、その目標達成のための「計画」を適切に設定していると評価できる。</p>
長所・特色《箇条書き》
<p>2023年度においては「教職センター自己点検・評価委員会」を全4回開催した。自己点検・評価の結果については、教職センターWeb サイトにて公表している。これらのことは評価できる。今後も、学生の学修成果をはじめとして、社会情勢や教育環境など種々の変化を踏まえ、継続的かつ適切に点検・評価していくことを期待する。</p>
課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載